

# AOI レジデンス クワルテット

2015年、初の東京公演を成功させ、  
一層円熟味を増した

AOI・レジデンス・クワルテット。

結成21年を迎える今回は、  
このクワルテットが最も得意とする  
バルトーク作品に挑む。



## AOI Residence Quartet

### 曲目

- L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第2番 ト長調 op.18-2
- L.ヤナーチェク：弦楽四重奏曲第1番《クロイツェル・ソナタ》 ホ短調
- B.バルトーク：弦楽四重奏曲第4番 Sz.91

### AOI・レジデンス・クワルテット

松原勝也、小林美恵（ヴァイオリン）、  
川本嘉子（ヴィオラ）、河野文昭（チェロ）

主催：静岡音楽館AOI 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団

特別協賛：静岡信用金庫

協賛：アイワ不動産

studio  
FORUM  
HOUSE & SHOP DESIGN

小田島

ホテル センチュリー 静岡  
ANSHINDO  
片瀬建設株式会社

支 援：平成28年度劇場・音楽堂等活性化事業

静岡市文化振興財団  
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

2016

# 11/12 土

18:00 開演 (17:30 開場)

静岡音楽館 AOI ホール (8F)

全指定 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員 ¥3,150)

22歳以下  
¥1,000

※お得なセット券もございます。詳しくは裏面をご覧ください。

# AOI・レジデンス・クワルテット 2016年公演への期待

弦楽四重奏曲の歴史は実質的にハイドンに始まり、モーツァルトとの相互影響によって古典の様式が完成されたと言つてよい。この両者によって洗練された古典様式の確立にまで至ったのは弦楽四重奏曲だけでなく、交響曲もピアノ・ソナタも同様であった。この偉大な先人たちに学びながら、しかし、ベートーヴェンは伝統様式を無批判に踏襲することはなかった。どちらかと言えば、弦楽四重奏曲は本来、サロン用のディヴェルティメント的性格をもつ音楽であったが、ベートーヴェンはこれを芸術表現を追究する真の意味での室内楽にまで高めたのである。ベートーヴェンの残した16曲の弦楽四重奏曲はどれひとつとして類型的作品はなく、各作品が極めて個性的である。早くも最初の6曲セット作品18の表現技法と音楽内容は先人たちの作品とは異次元の世界に踏み込んでいる。

《第九》交響曲を書き終えた直後からの最晩年2年半に生み出された5曲の弦楽四重奏曲は至高の様式にまで到達し、ついに19世紀中にその後継を見出すことはなく、遥か時空を超えた一世紀後のヤナーチェクの2曲とバルトークの6曲の登場を待たなければならない。今回のプログラムはすでに伝説ともなっている2004年のバルトーク演奏の名演の再現とここ数年取り組んでいるベートーヴェン作品、さらに文豪トルストイを介してベートーヴェンに思いを馳せたであろうヤナーチェク作品の饗宴とあって期待は高まるばかりである。

平野昭 (音楽評論家)



## AOI・レジデンス・クワルテット AOI Residence Quartet

1995年、静岡音楽館AOIの開館とともに、その専属弦楽四重奏団として松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、白尾偕子(ヴィオラ)、安田謙一郎(チェロ)、いずれも日本を代表する弦楽奏者たちにより結成された。98年にチェロが河野文昭に交替、2001年、ヴィオラは川本嘉子が後を継いだ。W.A.モーツァルトとシューベルトをたびたび採りあげ、また2000年には三輪眞弘：弦楽四重奏曲《皇帝》ハ長調(静岡音楽館AOI委嘱作品)を世界初演するなど、古典から現代まで幅広い作品で優れた演奏を提供しつづけ、とくに2004年のバルトーク：弦楽四重奏曲第1、3、6番の圧倒的な熱演は歴史的な名演といえる。これまでにP.ロジェ、野平一郎、横山幸雄、田部京子(ピアノ)、佐久間由美子(フルート)、P.メイエ(クラリネット)、福田進一(ギター)の各氏ほかと共演、弦楽四重奏曲を中心に多彩なプログラムで聴衆の耳を愉ませてきた。2010年には菊川文化会館アエル、伊豆市生いききプラザ、御前崎市民会館、グランシップなど静岡県の各地で演奏、2015年11月には上野学園石橋メモリアルホールで初の東京公演を開催し成功を収めた。今後の活動がますます期待されている。2013年、静岡県文化財団第26回地域文化活動特別賞、2015年、平成26年度静岡県文化奨励賞を受賞。



## 松原勝也 (ヴァイオリン) Katsuya MATSUBARA (Vn.)

1963年、東京生まれ。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。クライスラー国際コンクール、ティボール・ヴァルガ国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターなどを歴任。無伴奏リサイタルシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、新曲初演、ジャズ・ミュージシャンとのコラボレーション、即興演奏など幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ウィグモアホールでリサイタルを開催。2001年から2010年まで第一生命ホールで行われた若い演奏家のためのアドヴェント・セミナー、北九州市立響ホールフェスティバルなどをプロデュース。2012年、東京・春・音楽祭において、J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲の弦楽五重奏版を初演し、好評を得た。また、長崎OMURA室内合唱団の創立当初から共演を重ねており、現在では深い信頼関係を築いている。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティストックアドヴァイザー、霧島国際音楽祭講師、東京藝術大学音楽学部教授。



## 小林美恵 (ヴァイオリン) Mie KOBAYASHI (Vn.)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年、第52回日本音楽コンクール第2位。84年、海外派遣コンクール河合賞受賞。88年にはジュボア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。90年、ロン＝ティボール国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。CDは、「プレイズ・クライスラー」、「ヴァイオリン名曲集」など多数リリース。2010年には、紀尾井ホールにてデビュー20周年記念リサイタルを好演、11月には、ロン＝ティボール国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。2012年には、パキスタンで行われた日パキスタン国交樹立60周年の記念演奏会に出演。そのほか、海外公演にも多数出演している。2015年はデビュー25周年を迎え、2015-16年の2年間で5回の記念リサイタルのほか、全国各地で公演を開催。AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー。現在、昭和音楽大学客員教授。



## 川本嘉子 (ヴィオラ) Yoshiko KAWAMOTO (Va.)

1992年、ジュネーヴ国際音楽コンクール・ヴィオラ部門最高位(1位なしの2位)。96年、村松賞、97年、第7回新日録音楽賞・フレッシュアーティスト賞受賞。2015年、東燃ゼネラル音楽賞、激励賞受賞。ソリスト・室内楽奏者として最も活躍しているヴィオラ奏者の1人。京都アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー。桐朋学園でヴァイオリンを江藤俊哉、鈴木愛子、室内楽を末吉保雄、原田幸一郎の各氏に師事。在学中より演奏活動を開始。91年、東京都交響楽団に入団をきっかけにヴィオラに転向。99年より2002年の退団まで首席奏者を務める。タングルウッド、マールボロ、ダボス、東京の夏、霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、別府アルゲリッチ音楽祭等のフェスティバル、小澤征爾音楽塾、水戸室内管弦楽団等に参加。M.アルゲリッチやY.バシュメットなどと共演し絶賛を博している。C.ミョンフンとも室内楽で日本・韓国公演を行った。ソリストとして、これまでにG.バルティニー、J.フルネ、P.マークなどの著名な指揮者と共演。



## 河野文昭 (チェロ) Fumiaki KONO (Vc.)

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロサンゼルスで、その後、ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G.ライトー、A.ナヴァラの各氏に師事。84年、帰国後は独奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演を重ね、フィンランドの作曲家、J.コッコネのチェロ協奏曲やイタリヤのL.ペリオの無伴奏曲《セクエンツァIV》などを本邦初演する。また、室内楽演奏にも積極的に打ち込み、現在、アンサンブル of トウキョウ、紀尾井シンフォニエッタ東京、AOI・レジデンス・クワルテット、岡山潔弦楽四重奏団などのメンバーとして、国内外に幅広く演奏活動を行っている。第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位(81)、京都音楽賞(90)、大阪府文化祭賞(92)、京都府文化賞功労賞(2004)等を受賞。現在、東京藝術大学教授として後進の指導にもあたっている。

**“弦”楽器 セット券**  
**¥19,500**  
 (静岡音楽館倶楽部会員¥17,550)

**好評発売中**

|               |          |               |                        |                    |
|---------------|----------|---------------|------------------------|--------------------|
| ①7/31(日)      | ②9/10(土) | ③10/29(土)     | ④11/12(土)              | ⑤2017 3/5(日)       |
| プログラム：交響曲全集II | ギターの3つの顔 | 福田進一×渡辺香津美×沖仁 | エンリコ・オノフリ ヴァイオリン・リサイタル | AOI・レジデンス・クワルテット   |
|               |          |               |                        | ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全曲集 |

**講演会 弦楽四重奏の楽しみ方**

11/12(土) 16:00~17:30 静岡音楽館AOI講堂(7階)

講師：平野昭(音楽評論家) 無料(要申込)

**講演会 “この1曲”をとことん語る**

10/14(金) B.バルトーク：弦楽四重奏曲第4番 Sz.91  
 講師：竹内啓(静岡音楽館AOI学芸員)

10/21(金) L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第2番 長調 op.18-2  
 講師：関本淑乃(静岡音楽館AOI学芸員)

10/28(金) L.ヤナーチェク：弦楽四重奏曲第1番《クロイツェル・ソナタ》短調  
 講師：小林旬(静岡音楽館AOI学芸員)

※いずれも19:00~20:30 静岡音楽館AOI講堂(7階) 無料(要申込)

**静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)**  
**Tel.054-251-2200** (月休)

- \* 受付時間9:00~21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- \* お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- \* 一般券以外は、静岡音楽館AOIのみでお取扱いたします。
- \* クレジットカードでお支払いいただけます。

静岡リビング新聞社 Tel.054-255-1231(土日・祝・休)  
 チケットぴあ(Pコード：280-023) Tel.0570-02-9999

ペイドリウム清水店、アクティビティ浜松、ザ・エス・シー浜松西インター店、ららぽーと磐田、セブン・イレブン、サークルKサンクス(一部地域・店舗を除く)など

一般発売 **6月18日[土]より**

会員先行発売 **6月11日[土]より**

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。  
 皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- \* 価格は税込です。
- \* 都合により内容を変更する場合があります。
- \* お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- \* 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- \* 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- \* 演奏中のご入場はお控えください。
- \* 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください。1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を最優先してご案内いたします。
- \* 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- \* 未就学児はご入場いただけません。

事前予約(1週間前まで)・託児料：1人1,000円  
 すわん Tel./Fax.054-255-5377  
 (火~金 10:00~15:00)  
 e-mail: swan@xqj.biglobe.ne.jp  
 留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

**JR静岡駅北口を出てすぐ左** 静岡中央郵便局 合同建物内

至 浜松 (有料) AOI (有料) 至 東京 国道1号線

至 浜松 駐輪場(有料) ●バリエーション JR静岡駅 至 東京

東海道本線・新幹線 ●静岡科学館のく・る

\* 当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

**東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!**  
 CONCERT HALL SHIZUOKA  
**静岡音楽館 AOI**

開館 9:00~21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館)  
 〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

**TEL 054-251-2200** AOI 検索